

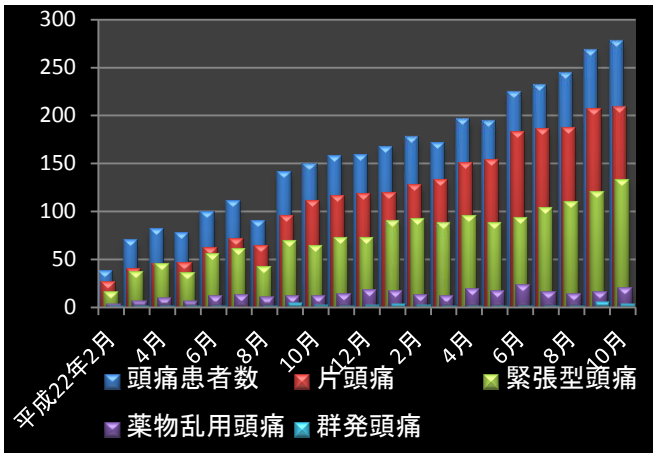
頭痛診療の統計

クリニックひらまつ

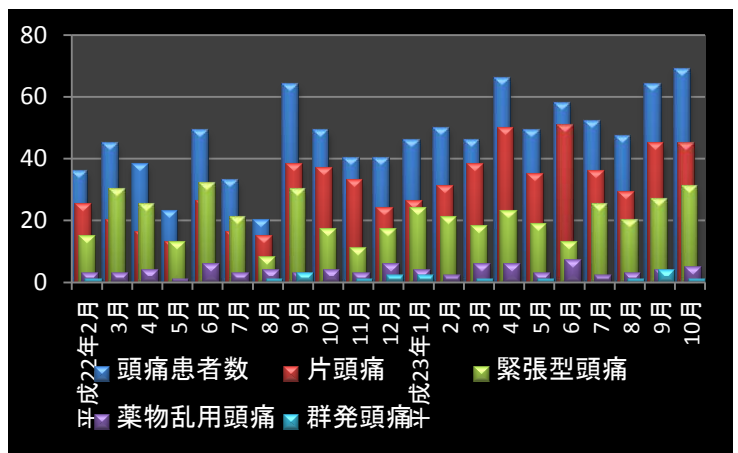
H23年11月に第34回 日本頭痛学会総会において発表した際にまとめたものを公表したいと思います。
データは開院時（H22年2月）からH23年10月末までのものです。

（*片頭痛患者の詳細につきましてはH23年6月末までのものとなります。）

頭痛患者数の推移



頭痛患者数（新患）の推移

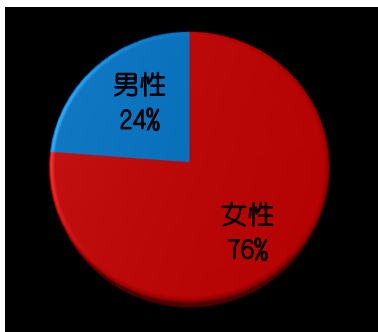


*1か月に1回以上頭痛で受診した患者さんの人数です。
*複数の頭痛のタイプを持つ患者さんは「頭痛患者数」では1人と数えています。

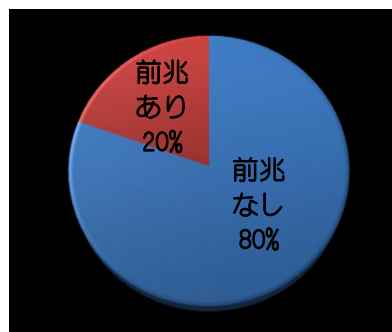
頭痛患者数は毎月順調に増加し、最近では1か月に300名程が受診しています。（左グラフ）
頭痛の新患さんは、最近では1か月あたり50-60名が受診されています。（右グラフ）

片頭痛患者さんの詳細

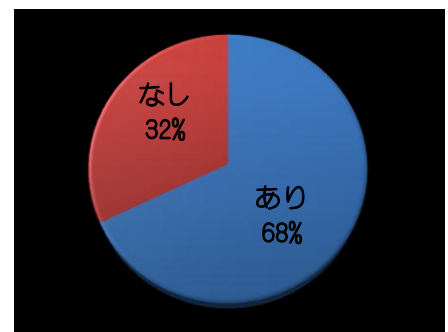
男女比 (n=446)



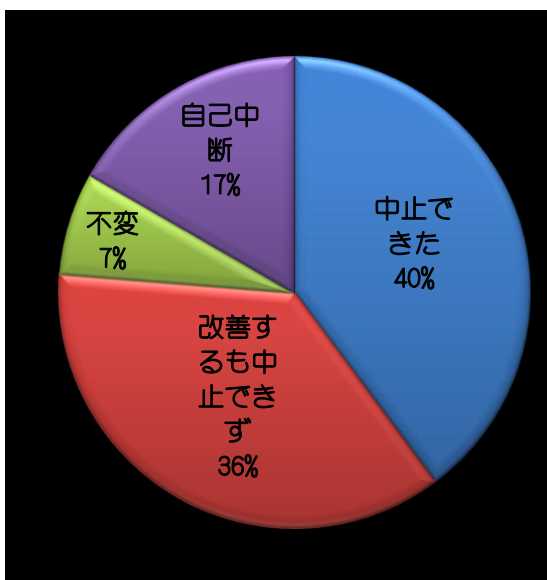
視覚性前兆の有無 (n=440)



予防薬治療の有無 (n=440)



予防薬治療を行った結果 (n=299)



開院～H23年6月までの頭痛患者さんの詳細です。
男女比では男性が24%、女性が76%と女性が3/4を占めました。
視覚性前兆の有無では、視覚性前兆のある方は20%でした。
受診された片頭痛患者さんのうち68%に予防薬治療を行いました。
予防薬治療を行った方のうち、40%で予防薬なしで良好な頭痛コントロールが出来るようになりました。予防薬の内服は必要なものの頭痛コントロールが改善した方は36%でした。予防薬治療を行っても残念ながら7%の方は頭痛の改善に至りませんでした。17%の方は途中で通院されなくなったため治療結果の判定が出来ませんでした。